

第 97 回看護師国家試験合格率は 90.3%

2008 年保健師・助産師・看護師国家試験合格状況

■ 第 94 回保健師合格率 91.1%

第 91 回助産師合格率 98.1%

3 月 26 日午後 2 時、看護師など国家試験の合格発表が行われた(厚生労働省医政局看護課／照会先：島田，初村／直通電話 03-5253-1111，内線 2595，2599) 合格率は看護師 90.3%，保健師 91.1%，助産師 98.1%であった(昨年はそれぞれ，90.6%，99.0%，94.3%の合格率)。

また，通信制 2 年課程では，厚生労働省管轄 15 校，文部科学省管轄 3 校の計 18 校が受験者を出し，合格率は 80.9%であった。5 年一貫教育では，2,830 名が受験し，2,541 名が合格。合格率は 89.8%であった。

採点除外問題は，保健師，助産師，看護師ともに各 1 問であった。発表は以下の通り。

保健師・助産師・看護師国家試験合格者と合格率

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第 94 回保健師	11,055	10,066	91.1
第 91 回助産師	1,722	1,690	98.1
第 97 回看護師	51,313	46,342	90.3

■ 合格基準について

● 第 94 回保健師国家試験

一般問題を 1 問 1 点(75 点満点)，状況設定問題を 1 問 2 点(58 点満点)とし，次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点 80 点以上/133 点

● 第 91 回助産師国家試験

一般問題を 1 問 1 点(75 点満点)，状況設定問題を 1 問 2 点(60 点満点)とし，次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点 81 点以上/135 点

● 第 97 回看護師国家試験

必修問題および一般問題を 1 問 1 点，状況設定問題を 1 問 2 点とし，次の①～②の全てを満たす者を合格とする。

①必修問題 24 点以上/30 点

②一般問題

状況設定問題 180 点以上/270 点

第 97 回看護師国家試験合格状況

区分	学校数	新卒			既卒		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
3 年課程	663	31,380	30,176	96.2%	1,984	1,156	58.3%
大学	121	8,951	8,728	97.5%	278	190	68.3%
短期大学	46	2,042	1,903	93.2%	266	153	57.5%
養成所	496	20,387	19,545	95.9%	1,440	813	56.5%
2 年課程	361	12,695	11,538	90.9%	2,387	905	37.9%
短期大学	8	208	156	75.0%	49	19	38.8%
養成所	284	8,490	8,022	94.5%	1,360	516	37.9%
高等学校専攻科	51	384	328	85.4%	528	117	22.2%
通信制	18	3,613	3,032	83.9%	450	253	56.2%
高校・高校専攻科 5 年一貫教育	65	2,634	2,454	93.2%	196	87	44.4%
その他		9	8	88.9%	28	18	64.3%
計	1,089	46,718	44,176	94.6%	4,595	2,166	47.1%

第 94 回保健師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒			既卒		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
大学	120	9,755	8,967	91.9%	299	181	60.5%
短期大学専攻科	14	416	396	95.2%	11	6	54.5%
養成所	20	548	503	91.8%	25	13	52.0%
その他		1	0	0.0%	—	—	—
計	154	10,720	9,866	92.0%	335	200	59.7%

第 91 回助産師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒			既卒		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
大学院	3	38	38	100.0%	1	1	100.0%
大学専攻科	3	34	34	100.0%	—	—	—
大学	82	699	682	97.6%	26	24	92.3%
短期大学専攻科	17	183	178	97.3%	22	20	90.9%
養成所	33	677	672	99.3%	41	40	97.6%
その他		—	—	—	1	1	100.0%
計	138	1,631	1,604	98.3%	91	86	94.5%

■ 採点除外問題

● 第 94 回保健師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午後 第 22 問

次の文を読み【問題 22】、【問題 23】、【問題 24】に答えよ。

市では介護予防活動計画を策定し、A 地区で介護予防モデル事業を実施した。A 地区は老人会の積極的な協力と民生委員、食生活改善推進員の参加を得て事業を行い成果を上げることができた。A 地区の成果を基に、B 地区でも同様の事業を実施しようと考えた。B 地区は人口の空洞化、高齢化が進んでいて住民同士のつながりは希薄である。地区の老人会も組織されていない。民生委員は高齢者に対する活動を熱心に行っているが、食生活改善推進員の活動は活発でない。

【問題 22】事業を企画するにあたり B 地区について保健師が分析する必要性の高い情報はどれか。

- 人口構成
- 高齢者世帯数
- 要介護認定者数
- 高齢者の就業率

- a, b
- a, d
- b, c
- c, d

採点上の取扱い 採点対象から除外する。

理由 正答肢が存在しないため、採点対象から除外する。

● 第 91 回助産師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午前 第 73 問

【問題 73】助産所の管理・運営で正しいのはどれか。

- 初診は嘱託医による妊婦健康診査が義務付けられている。
- 助産所の管理者は助産師に限定される。
- 衛生上の基準違反は罰金科料される。
- 事故に備えて損害保険に加入することが義務付けられている。

採点上の取扱い 複数の選択肢を正解として採点する。

理由 複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

● 第 97 回看護師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午前 第 38 問

【問題 38】コンタクトレンズの使用に関連して起こり得るのはどれか。

1. 白内障
2. ドライアイ
3. ぶどう膜炎
4. アメーバ性角膜炎

採点上の取扱い 複数の選択肢を正解として採点する。

理由 複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

■改定出題基準の適用は 2010 年の見込み

国家試験の出題基準は概ね 4 年ごとに見直されており、現行の出題基準を見直す時期となった昨年 10 月より保健師助産師看護師国家試験制度改善部会において審議が開始され、報告書が 2008 年 3 月 24 日に出された。

改善すべき出題基準事項として、看護師国家試験では、必修問題を現行の総問題数 240 問の範囲内で、現在の 30 問から 20 問増やし、合計 50 問程度とすべきであることが挙げられた。看護師として不適格な者を選別する方法の 1 つとして検討されていた禁忌肢については導入が見送られたが、「患者等の生命を直接脅かす行為」「触法行為」および「非倫理的な行為」を問う問題の出題を強化するとされた。

保健師国家試験は、近年国家試験問題の難易度が安定していないことが指摘されている。試験問題を適切な方法により評価し、次回の問題作成時に効果的に活用するためのフィードバックのあり方や評価方法等について、引き続き検討が行われるべきとした。保健師助産師国家試験において検討されていた必修問題の導入については見送られた。

これら改定出題基準の適用は、2010 年の第 96 回保健師国家試験、第 93 回助産師国家試験および第 99 回看護師国家試験からの導入が見込まれる。

合格発表会場の様子



■出題形式の改善も検討—— 2009 年の適用か

また、本報告書では保健師助産師看護師国家試験に共通した事項として、出題形式の改善およびプール制の推進など、試験問題の難易度を安定させる取り組みが求められている。出題形式としてこれまで採用されていた「選択肢のうち 2 つを組み合わせた 4 つの回答コードから 1 つを選ぶ形式」では、確実な知識がなくても正解できるとの指摘があることから、「複数の選択肢から 2 つの正解肢を選ぶ形式」の導入の検討が挙げられた。また、判断の内容を問う問題形式や、多数の選択肢群を複数の問題で共用する解答形式など、多様な出題形式を導入していくことが望ましいとされた。状況設定問題においては、応用力を問うために、複数の試験科目をまたがった出題も可能とすべき、なども出された。

これらの出題形式等の改善は、2009 年の第 95 回保健師国家試験、第 92 回助産師国家試験および第 98 回看護師国家試験から導入が見込まれる。

今回の国家試験に関する分析・解説は、次号に特別記事として掲載する。